

「あすなろ」便り



NO.22
2006.1.31

あすなろの家も4年目の新年

平成15年7月に開設してから、4年目に入りました。「石の上にも3年」とか、いろいろな問題を抱えながらもここまで楽しく活動できましたことはみんなの協力の賜です。不登校ひきこもりの子どもや若者はたくさん居ます。その方達とどうつながって行けようかが、今年の大きな課題です。地域の方や学校・関係機関の理解を深めていくように努めて行くことが大切だと思います。「悩みが多いほどやりがいがある」挑戦の年でありますように……。



1月12日(木)に新年会をみんなで楽しみました

今年は、初詣での計画を変更して、新年会をやることになりました。



- ① もちっこで餅つきをしました。
本当は臼と杵でつきたいところですが、スタッフに殿方が居ないのであきらめました。餡餅・きな粉餅・納豆餅にからみ餅と賑やかに作りました。
つきたての餅の雑煮は最高で何度ものおかわりに笑いが起こりました。
- ② たこ焼きに人気がありました。
材料の準備から料理まで親子での活動です。焼き上がってすぐに食べたいのをがまんするのに一苦労でした。
- ③ 雑煮のねぎを畑から……
と言いたいところですが、雑草に負けたねぎはかわいそうな位小さくて少ししか 育ていません。
でも、**ねぎはえらい** ちゃんと根を張って育てくれたのです。
- ④ 無理して石臼できな粉を作りました。
助成金で購入した石臼は利用しなくては申し訳ありません。節分的大豆で作りました。香ばしい香りが最高でした。少し粉は粗めでしたがおいしかったです。皮取りが大変でしたが割と簡単に出来ました。
- ⑤ スタッフのサツマイモのフルーツサラダやジャガ芋クレープに大根の漬け物などは、大好評でした。
レシビが欲しいの声に主婦ボランティアの姿を強く感じました。